

春頌 1953年

新年の御挨拶

市長 内 海 清



所清藏社
役海市芦内西阪神芦屋人行集印發行(毎月一回)

新年のことば



芦屋市議會議長

講和條約發効第一年の新春を迎えてつし

みてお慶びの御挨拶を申し上げます。

独立とか、自主とか

いうことばは私どものよきなれどことばであります。

であり、そしてよく口にすることばであります。

が、あまりにこのことばが抽象的、觀念的な理念として流れてはいないでしようか。私どもは現実を直視して、具体的な現実からこのことばの意味を考え、そして具体的な現実の上にこのこと

考へるべき諸般の施策はかずあります。

この年、この日にあたつてわが芦屋市として

考へるべき

べき

と考へる

</div

年頭御挨拶

芦屋市弘報委員會

委員長 久保平兵衛

私はこのあいだ、電車の窓から、町角に奇妙な一團の人を見た。その顔に表情がないといふより、表情が死んでゐるのが際立つていたのだ。そして、やつぱりそうだったのかと思つた。彼らの多くが杖をもつてゐるのが見えたからだ。盲の人たちだつたのだ。私はそのときはつきり、顔とか表情とかは、外部の刺戟に對応して存在するものだということを了解した。目があいていないと、それだけ表情が抜けてしまうのである。色々うらないといふことがあるが、人相見というのだけは、一寸信がおけるような氣がする。人相には必ず多くの反應があり、結果

輝しき我國獨立後第一回
の新年を迎るに当り、
憲政委員会を代
表致しまして日頃當委員会
運営に関し不一方御指導御
鞭撻と御協力を賜わりまし
た市当局、市議会並に市民
各位に対し茲に謹んで深甚
なる感謝の意を表しますと
共に各位の御多幸を御祈り
申上げたいと存じます。

善良そうな顔
つまり善良
なために敗残
者となつたの
ではないか。
そして世の波を乗りこ
えて進もうと、勇氣
がないために苦惱のか
げもなく、どん底の一
種の安らかさに顔がお
だやかになつているの
ではないであろうか。
私はそれを見るたびに
何かかなしかつた。私
をも含めて学生たちは

によって地方行政の自治制も同じで終戦後各種法令が強化確立せられ、市当局市議会折角の御努力により肩々其の線に沿い发展を遂げて参りましたが何分にも財源に乏しき市台所を抱えて「天下の芦屋」の名に相応しき「美しい市」「明るい市」「住みよい市」「品のよい市」等所謂「文化都市芦屋」の建設とより一層の發展を計らねばならないと云ふ事は誠に容易ならぬ事であります。そして之が完成達成の為には之亦どうしても全市民が一致相和し総力を結集して之に当る覚悟と努力が必要であると信ずるのであります。乍併元々「和」とか「協力」と云うものは当事者間に「不公平観」「疑い」「嫉み」「憾み」「不公平」などがあつては期待出来ないのであります。

私の更に奇妙に思うのは、犯罪者によく温良な顔を見るからである。先日も電車の中で手錠をはめられていました。スリに會つたがその善良さうな顔は、私にひどく同情の氣持を起させた。ぼろぼろの服のせいもあつたろうが、

市地に位し風光明媚なる土地とと共にに有能且つ信頼すべし市当局及び市議会あり、一方市民層中には各界の一大勢力となり之等有識有力なる指揮官士紳が全國一多數在住され、其等層階の市民が今后今一段と積極的に市及び市民の爲めに或いは物質的に或いは知能的に又いは労力的に御盡力下され、他の我等一般市民も前記心掛を以て相共に努力するならばこそ、「金棒」と申しましようが条件完備「理想郷芦屋」の完成遠からずと信するのであります。

らえられたものの、もう追われることのない安心と、ざんげの心があんなに顔を美しくしているのかかもしれない。しかし結局、顔が刺戟の反応であることだけは確かだ。絶えざるはけしい刺戟をうけ続ける顔が、いかに複雑

候選委員の三種類あります。後二者はその専門的立場と技能に基き当会運営上に開く立場の委員であります。が、助言及び質問に応じて頂く立場の委員であります。が、立場も皆様と當時接觸して公聴弘報の連絡東務を担当しますのが、町内委員の方々であります。が、町内委員には一人の常任委員と數名の委員が居られ、常任委員の方が町内委員会の中心となり統制を取られる外常任委員会に列席され当会運営上の重要な問題審議に参加することになります。町内委員には一人の常任委員及び学識経験委員は常任委員の資格があつて之等も常任委員會に列席する)委員会の行事としましては前記常任委員会を毎月二回、幹事會(常任委員より選任した十名が会の運営上の問題につき企劃、立案し當任委員會に諮る)月一回以上町内委員會一、二ヶ月一回。地区小委員会六ヶ月一回(数町の委員が出席隣町委員の連絡を計り、併せ

されても、見ていて氣の毒になる。
人間の仕事の中で、最も、知慧や精神力や体力や本能を集中する職業として、私は事業家の顔を見るのが好いている。狡猾の面、迫力の面、知慧の面などそれぞれの特徴がある

月各戸に醸有月一回以
て各町内を巡視及び各戸を
訪問日常市民生活に関連す
る事項を主体として其他市
に対する希望事項を聴取し
たり調査取締の上「連絡要
事により市へ伝達することに
なつて居ります。

尙市政に関する市より市
民への周知、宣伝、啓蒙事項
の声による速報方法として
警報器を取付けた「弘報
自動車」新規購入方その他
を市にて考究依頼申中であり
ます。

以上の通りに付皆様は貴
町内委員に當時御連絡の上
らず日常生活に差詰め関係
ある「下水」「汲取」「水道」等
塵芥取」「道路」「街灯」等
に関する問題を中心に「税
金」に関する問題とか其他
市政に付ての御希望なり御
意見なりは何なりと御遠慮
なく各委員備付の「連絡票」
や或は別の用紙にて必要
に応じ厳封して又は口頭に
て委員迄(市長宛)御提出
されば、委員は早速市へ

にそのいやしさが次第にふえてゐる筈である私はできるだけその苦しさを、新しい希望と懺悔によつてぬぐいたいと思つている。鏡を見る、そして心で呼びかける。大丈夫か、と。しかし眉根のしわ、頬のゆがみは次第に固ま

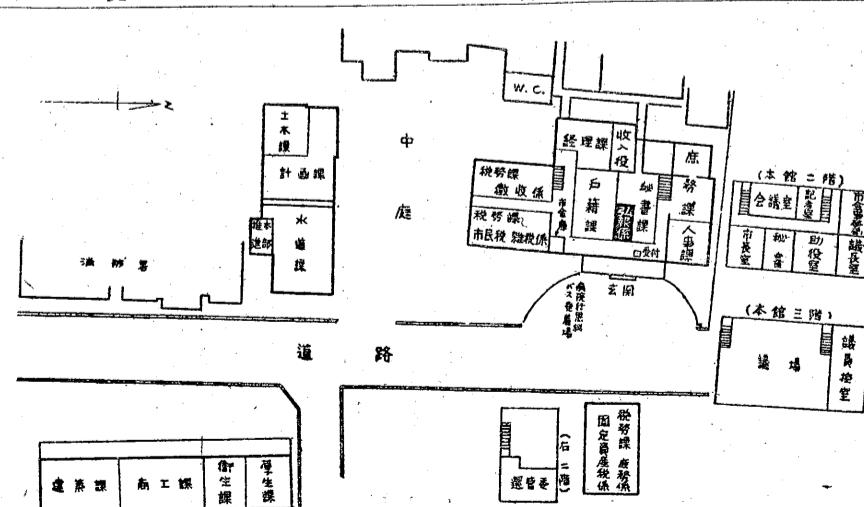
★市役所内事務
市役所各課の事務室の移転について前月号でお知らせしましたが、その後又多少の変りがありました。即ち本府前元教委事務局にあつた戸籍課が本府玄関入った南部へ移り、そこを占めた税務課の固定資産をめいていた税務課の固定資産税係及び庶務係が戸籍課の立も得れば本懐の至りと存し一同誠心誠意、自謙自戒の上微力を盡し居ります次第、何卒上共當会のよりよき運営と正淨なる發展の爲に御遠慮なく御叱正御鞭撻下さると共に市民各位の一層の御利用御協力をお願ひ申上げたいと存じます。
以上御挨拶に兼ね御願い申上げる次第で御座います 敬白

ひとを利む飲食の人の話したところ三十年前その會社が不況のどん底で借金取にかこまれていたとき、彼がスリのよな顔をしていたな、と話してくれた。顔は變り得る。それはいいやしい日々を送る私への慰めである。(市弘)

る。そしてこの火を人間が抜つて暮して居る限り人間が火災を切り離して考えるのも今更いうまでもない事であります。家庭の炊事、探光、暖房から汽車、電車、汽船、電氣等に到るまで私共の日常生活のすべてが火に依存しているといつても過言ではないでしょ。もし家庭に火が無かつたら厳寒の時、人々は非常に苦しむでしよう。寒い土地の人々は生活ができず地球上の人々は熱帶地方に移到執務していますから御了解願います。一般的の詳しい配置は下圖により御承知下さい。

弘報委員會たより

★第11回幹事会(1月9日)
本年初の幹事会を午後3時より市役所で開催して、年度の事業計画につき議論した。前年に引き続き市議会委員会小集団と市民懇談会を予定通り継行することを了承し、諸経費の見積り等、正副議長各幹事十数名参会、時散会す。



■本号の主な内容

- 昔から今日迄かつて火災を出したことがないのではなく、日この部落を訪ずれその理由を質したところ、部落は別段火の用心に意を用いるわけではないが、火を神として崇め取扱いをおろそかにしないことが部落の特色として人々に守られていて、これを聞かされひどく感心したという話を聞いておりました。この至極簡単な一事に私達も教えられる処が少くないと思われます。しかし乍ら人の生活が火に依存している以上火災が絶対にあります。かく者えれば、人間の注意力にも限度があることを前提に火災はいつか起こらぬといなめない事実であります。かく者えれば、人間の観念を持ち火災に備えることを予期し、平時から若しも火事が起きたら」の掛けも又必要であります。市民の皆様、この後共火事の取扱いに十分注意をしておられると、いつ迄も我々人間が火を支配して、人間生活に無くてはならぬ火のために泣くようなことのない様お互い心配げに行きましょう。

(別表1) 12月分徵收狀況

市額	合計	稅金	產稅	車稅	電費	荷役	自接	固稅	轉稅	氣稅	人稅	法稅
26,166,639円90銭												
11,246,989円												
13,200,170円												
19,600円												
2,400円												
1,530,104円												
5,170円												
1,400円												
160,806円90銭												

旧ろう十二月一ヶ月間をあげて行われた縣民越年三大運動は、幸いに皆様の一方ならぬ御協力のお蔭をもござして予期以上の好成績をあげて幕を閉じました。皆様の御厚志にて厚く御禮申上げると共に今後も何卒よろしく御援助の程をこの機会にお願い申上げます。

1、納稅運動

市民の皆様の福利を増進するため、市の行つてゐる諸事業例え道路を鋪装するとか治安灯を増設する等の色々な仕事を阻む隘路となつてゐる市の財政窮乏を打開するため、財源の大半を占める市税の滞納を一掃すべく越年三大運動を機に十二月中強力に「納稅運動」を開きました所幸いに市民皆様の非常な御理解により別表(1)の通り、優秀な徵稅成績をあげることができました。これは昭和二十七年中の平均を三割以上上廻る金額で、今後常にこの位の納稅に対する御熱意をお示し下さるならば、滞納一掃はさて難事で御あります。停頓している諸事業も軌道に乗つて進むのであります。(稅務課)

2、愛の持寄運動

納稅、供米とならんで行われた「愛」の運動の面でも市民の皆様の温いやりが與を結び「愛の持寄り運動」は別表(2)の様にたくさんの金品が寄せられ市係員を感激させました。お蔭をもまして生活困窮の人達も真心こもる贈物に包まれ、温いお正月を過しました事と思います。このように私共の展開した運動が輝しい成績に終つた事は偏に崇高な同胞愛をもつて御協力下さいました各方面の方々の厚いお志しによるものと衷心より感謝と敬意を獻げる次第でございます。(商工課)

3、供米運動

我が食糧問題の鍵である産米供出の面では、既に前号に於てお知らせしましたように市内農家の非常なる御努力の結果、県下都市中七番目の昨十二月十六日四十石(一二二%)を供出し連續四ヶ年連々と完納を果しました。重ねて心より御礼申上げます。(商工課)

有權者二九二七九人

基本選舉人名簿確定す

昨年九月十五日現在で調製された基本選舉人名簿は同十二月二十日に確定した。それによると本市選舉有權者數は男一四、四六三人女一四、八一人計二九、二七九人この名簿は本年十二月二十日までの間に行なわれる各種選舉に使われます。従つて地方自治法の規定による市議會の解散請求、市議會員、市長、助役、收市は条例に基く委員会又は条例に基く委員会又は条例に基く委員会その他の事務

星田競輪

2月14日—19日

協力を御願いたしました。(衛生課)

星田競輪

2月21日—26日

協力を御願いたしました。(衛生課)

芦屋の水

芦屋は水に恵まれた町だ。だい
いち芦屋の水道の水は大阪や神戸
などに比べると、ずつとおいしい
ようだ。奥山の花崗岩の中をしみ
通つてくる間に、適當な量の鉱物
質を溶かしこんでくるからである
。もつとも夏の間は殺菌用に溶
かしてある塩素の臭がぶんぶんし
ていいやであつたが、この頃はそれ
がないで嬉しい。氣候が寒くて水
が冷いせいか、あるいは加える
塩素の量でも減らしているのでは
ないかと思つてゐる。
それから町の中をあちらこちら
と小さな流れが通つているのもよ
い。筆者がドイツにいた頃、南独
のライブルグという大学のある
小さな町に行つたことがあるが、そ
こでもうしろに山があり、そし
て町の中をあちらこちらときれい
な水が流れていった。芦屋の町の中
にも、瓦かけや煉瓦かけなどによ
つともライブルグの町を流れてい
中には、いろいろなものが散らかつたり
ここも石でホソウされており、道の傍を
見るところのライブルグの町を憶い出
なかつたが、芦屋の町の中を流れてい
かかつたりしてゐるのは見苦しい。誰か
いる水の中にも、瓦かけや煉瓦かけなどによ
つても、いつのままで、瓦か
みのないきれいな水が、しじゅうさらさ
れているようにしたいものである。
思まれていて、つい粗末にするものら

しい。このせいか芦屋の町は時々水神のお怒りを受けて水ぜめに會う。芦屋の町の水ぜめは海からくるものと山からくるものとがあるが、いずれにしても、これが完全に防げなければ、「文化都市」は台無しである。海からくる水害の方は、芦屋だけではなく、大阪灣に面していられるすべての町の共通の問題だし、山からくる方でも、六甲の山にある町々の共通のなやみである。したがつて、これに対しでは、それぞ専門家の手によつて、いろいろな方策が講ぜられているのであつて、筆者などのようなすぶの素人がとやかく申すべき筋合のものではない。また余計なことを申すとお叱りを蒙るかも知れない。けれども岡目八目といふこともあるから、お許しを願いたい。これは筆者はかつてこんなことを考えたことがある。

山からくる水害を防ぐためには、山から一時に大量の水が流れ出て来たときにも、川があふれないように、川を大きくすればよいことは申すまでもない。しかしながら、それには、大まかにいつつ、二つの方法がある。第一の方法は川幅を變えないで、川を深く掘り下げる事であり、第二の方法は、川の深さはそのままにしておいて、川幅を広く掘り広げることである。どちらにしても、川は大きくなるから、水がどつさり流れれるができるようになる点では同じことである。けれども、これはきれいな水流が流れたときのことであつて芦屋川の水害のときには見られるように、砂や石の沢山混つた水が流れれる時には、少し違うのではないかと思う。それには第二の方法のように淺くても川幅を広くしておくこと、ちょうど傾けた板の上に水をあけた時のように、水の中に混つてゐる砂や石は水といつしよに流れて行ってしまう。ところが、

第一の方法のようになら川の深さを深くしてあっても川幅を狭くしておいたのでは、砂や石によつて忽ち埋つてしまつて川が浅くなり、水があふれやすくなる。実はこのことはいつか實驗してみようと思ひながら、ついおつくらうでまだやつてないのであるが筆者の考へでは、こうなるのではあるまいかと思う、もしそうだとすれば、芦屋川の水害を防ぐには、川を深くしたのではだめであつて、川幅を広くしなければならないと言つてよいのであるが筆者の考へでは、こうなるのではあるまいかと思う、もしそうだとすれば、芦屋川の水害を防ぐには、川を深くしたのではだめであつて、川幅を広くしなければならない。しかししながら、いずれにしても根本の問題は、大雨が降つても山肌が崩れないよう、山にどうさり木を植えることであることは間違ひない。筆者は山火事で荒れたままになつてゐる芦屋の背山を見るたびに、かつて行つたことのある朝鮮の山を思い出す。それから、秃山であつた青島を文字通りの青島にしたドイツ人の科学的な努力を思う。ドイツ人が青島の植林に成功したのは、アカシヤを使つたからだと聞いてゐるが、芦屋の山にも何か最も適した生長の早い木がないものであろうか。植物学者に研究していただきて植林にはハイカーリー連に協力してもらつたらどうだろうなどと、友人と話し合つたこともある。「水害都市」芦屋が本当に「文化都市」芦屋になるようになつたので御知らせします。

★ 小學一年生の入學について

○どんなことでも結構です
報委員又は市役所弘報

この四月から小学校の一年に入学するお子達のあるお家庭へ就学通知書をお届けいたしました。これは昭和二十一年四月二日から昭和二十二年四月一日までに生れたお子様を昭和二十七年十二月一日現在の住民登録簿により調査し通知したものでありますから登録もれ、又は昨年十二月一日以降本市に轉入された方で通知の行つていない方は配給通帳をもつて至急教育委員會事務局学事係へ御申出下さい。

12月中の市民の皆様の投書や弘報委員連絡書は計34件15人ありました。内訳土木課関係8件、庶務7件、衛生6件、計画2件、税務3件、收入役2件、その他6件、22件、参考意見7件、回答のみで處理済4、他へ照会中1件となっています。

御意見の内容は前同様で道路や下水の修理や鋪装、街灯の修繕や新設希望、道路や側溝の清掃、市営浴場の新設、マンホール蓋の設備ヒューム間の取替付を要望される等の声がつよいようです。市では可及的皆様の御希望を実現すべく努力いたしております。

市 民 の 聲

芦屋のあし

春山武松



芦屋に住むようになつてから、かれこれもう三十年になる。ずい分長いものだが、そのうちに芦屋もだいぶ變つた。一番氣のつくことは芦屋にあしの少くなつたことである。もともと芦屋は難波江の續きであるし、芦屋という名がついているのだから、あしに関係が深いのに相違なく、もとは一面にあしが生い茂つていたにちがいない。古老の話では、いまの阪神電鉄から南はずつと見とおしになり、一面のあし原だつたそうである。私が住むようになつた時分には、もうよほど開けていたが、それでもなおあしは至るところに生えていた。最初の家は宮川尻に近いところにあつた。砂浜はいまよりもずつと広く、その砂浜に一軒古い家があり、まわりにあしがすぐすぐと生い繁つて、いまとは全く別な感じのする風情があつた。

私のうちのうしろは、旧国道筋までほとんど家が一軒もなく、濕地、空地が多く、そこはき

の姿を思ひ起す。それからあし原に付ものゝヨシキリ（行々子）もよく鳴いた。この鳥は元氣盛りには夜中づけさまでに鳴きとおすことがあるので、少しうるさいと思つたこともあるが、その声が聞かれなくなつたまでは、むしろなつかしい。セツカ（雪加）といふ鳥もいた。これはいまの川崎寮の前にある池のまわりのあし原でよく見かけた。セツカというのは雀よりも小さい鳥で、飛びながらヒツヒツ、と鳴くのがとくちようである。あし原で困つたことは、冬になるといたずら小僧に火をつけられることである。一度などは家が焼けはしないかと、大いにあわてゝ防火につとめたことさえある。

序にもう少し書いておこう。第一はハマボウフウ（浜防風）のことである。これは單にボウフウともいつてさしみのつまに使われるものである。海岸地帶に生えるもので春さきやつと芽を出した時分を見はからつて、やわらかい莖を砂を掘て取出し、ちよつとゆでて、酢味噌あえににしてたべる。ブンといい香がしてオツな味がある。このハマボウフウが昔は砂浜一面に生えていたのである。ところがその後だん／＼砂浜のもうが變り、又これが何かの薬になるとかいつて掘り出してゆくので、いまではちよつと見まわした位では、一本も姿をみせないまでの状態になつてしまつた。ハマボウフウが薬になるといつても、漢方藥のボウフウとは全然別物なのだから、何か思ひちがえをしているのだろう。といふのであるが、間違いでも何でも、こう根本そぎに掘りとられてしまつては、たまつたものではない。

私はこの草の絶滅をおそれた、そこでその深い根を掘り起して、私のうちの庭の片隅に植えて保護することにした。毎年夏になると青味がかつた白い花が咲き、実がなり、種がこぼれ、その種からまた芽が出るというように、どうやら五六本は絶えないでつづいている。根は朝鮮ニンジンに似た四五寸のもの、宿根性で三四年は生きているものらしい。私はその乏しいながら莖を摘んで、酢味噌あえにしてたべようと思うのであるが、その摘取りの時期がなかなかむずかしい。さしみのつまみに出てくる葉が青く、莖が紫色になつてゐるのは、氣が強くてもういけない。もつと早くとらなければ駄目なのであるが、なかなかそれがうまくゆかないでの、成功したのは二、三度あるかなしかである。

次はウンラン（海蘭）である。これは莖の長さ五六寸から一尺ばかりで、斜に生え、葉は三四片輪生して、色は白味の多い緑である。何でもない雑草に過ぎないが、花の形がちよつと異様で、その説明はなかなかむずかしい。色は白く、どこかに黃いろいところがある。キンギヨサウと同科であるから、まあそんなものと思つていただきたい。そしてこれも海滨を生地とするものであるが、芦屋の浜にももとはそれが

つた。私がそれに気がついたのは二十餘年以前のことであるが、その時分にはウンランはもう極めて狭い土地にしかなく、すでに絶滅しようとしているところであつた。それで私はこれも掘りおこして庭へ植えたのであるが、何分ハマボウフウのよう頑強なものではないので、翌年まで保つたきりであつた。もとのところにそれがいまでも残つてゐるかどうか。その後調べてもみないが、多分もう絶えてしまつてゐるであろう。ウンランは日本の植物中でも珍種に属するので惜しいと思う。といつてウンランが日本國中から姿を消してしまつたというのではなく、いまでもどこかの海岸にはある筈だから、安心してよからう。これは芦屋での話である。もう一つコウボウムギ（弘法麥）は、フデクサともいつて、その實が筆の穂のようになるのがある。海岸に生えるカヤツリ草科の植物で、これも芦屋の浜にあつた。いまはどうなつてゐるか知らないけれど、もともと強い雑草で、全国いたるところの海滨にあるものであるから絶滅する氣すかいはない。

★市政についての苦情疑問批判は気軽に地区弘報委員会へ

までお傳え下さい。市弘報係より必ず御連絡下さい。

返事いたします

○どんなことでも結構ですから市政に関する意見希望苦情等を書いて貴町弘報委員又は市役所弘報係までお届け下さい。別の紙をお足しになつても可。

★小學一年生の入學について

一四〇

★傳染病をしめ出そう！

昨年一月より十二月までの当市に発生しまして傳染病は、次の様に